

高校生アントレプレナーシップ公開講座 新しい農業のかたち

今回の講義では、「新たな農業の在り方、そして農業の未来」をテーマとします。現在の日本農業では“担い手不足”が深刻な課題となっており、農業の在り方も大きく変容しています。ロボットやICT、AI、ゲノム編集技術を活用した新たな農業が進んでいます。スマート農業について知りたい、将来は農業に関わりたいと思っている方、ぜひご参加ください。また、新しい農業技術を活用した「起業」を将来の選択肢の一つにしてみませんか。

日 時:10月5日(木)15時15分～16時45分

会 場:広島県立西条農業高校 会議室

プログラム

1) 広島県のスマート農業の取組について

広島県農林水産局 農業経営発展課 スマート農業担当監 尾村尚樹 氏

県は、生産性の高い農業を確立をすることで、若者が農業に就業し、経営者として事業を発展させ、活躍できる姿の実現を目指している。このため、令和3年度から開始した中山間地域に適したスマート農業技術の取組を紹介する。

2) 20年後の農業と自分の姿を想像してみよう!

県立広島大学 生物資源科学部 朴壽永 教授

学生の皆さんが社会の主役になる頃の20年後の農業と自分の姿を予測・議論する。現状の離農や担い手不足、耕作放棄地などを裏返していえば、意志を持ったスマート農業経営者にとっては競争相手のないブルーオーシャンの基盤作りである!

3) 植物×細胞農業で切り開く細胞農業の未来

県立広島大学 生物資源科学部 荻田信二郎 教授

世界人口の増加による食料危機が危ぶまれ、さらには紛争や気候変動により食料供給が深刻化する中、環境負荷を低減し持続可能な生産方法である細胞農業が注目されている。細胞農業の詳細と将来展望について学ぶ。



県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

<問合せ先>

地域基盤研究機構 担当: 近村・川畑

TEL: 082-251-9534

Mail: start-up@pu-hiroshima.ac.jp